校長室便り　No.15

土佐清水市立下ノ加江小学校
令和４年１月１１日（火）
文責：東　淳一
Tel/Fax　0880－84－0031

新年明けまして
おめでとうございます。

今年のお正月は、天気も良く、あちらこちらで初日の出を見ることができたようです。三が日も穏やかな天候に恵まれ、過ごしやすい日が続きました。家族で出かけたり、コロナのためにしばらく会えなかった親戚の人たちと久しぶりの対面を果たし、楽しいお正月を過ごした人たちも多いことでしょう。

令和４年（2022 年）が始まりました。また、新たな気持ちで頑張りましょう。

今年は『寅年』ですが、虎とは違うのか？ちょっと疑問に思ったので検索してみると、虎は、みなさんご存じの動物の虎ですが、寅という文字には、「動く」の意味があり、春が来て草木が生ずる状態を表している。と書かれていました。生命の息吹を感じ、生き生きと、何か新しいことに挑戦したくなるような思いになります

3 学期は、登校する日が 50 日です。よく、「1 月は行く。」「2 月は逃げる。」「3 月は去る。」といって、月日の流れの速さを表現されますが、油断しているとあっという間に 3 学期が終わってしまいます。自分を見つめ、自分にできることは何か目標を立て、しっかり取り組みましょう。

6 年生は小学校生活仕上げの 50 日間になります。小学校生活の総括と中学校進学に向けた準備をしましょう。

5 年生は、4 月から最上級生です。様々な場面で役割と責任ある行動を求められることでしょう。それに応えられるようがんばってください。

1・2・3 年生の皆さんは、学年が一つずつ上がります。少人数の学校ですので、上級生にばかり頼っているわけにもいきません。できることは協力しながら一緒に取り組んでいきましょう。

1，2 学期に比べればずいぶん短い 3 学期ですが、中身の濃い 50 日間にしましょう。

放課後子ども教室
餅つき大会が行われました。

12 月 28 日（火）に放課後子ども教室運営委員の皆さんや協力者の方々により、餅つき大会を行っていただきました。

前日準備に続き、当日も、早くから準備をしていただきありがとうございました。

最近は、杵と臼で餅をつくどころか、機械でつくことさえ家ではなくなってきています。時代とともに「餅は買うもの」になってきているようです。

私の家でも私が小学生の頃までは杵と臼を使って餅つきをしていた記憶があります。上手く杵を扱えず、臼のふちをたたいたり、腕がだるくなってきて、勘弁してくれという思いになったりしました。今でも「餅つきはしんどい。」という思いが残っています。

その後、餅つき機という家電を購入し、必

要最小限の餅を作るようになり、以来、杵と臼を使うことはありませんでした。

今回、久しぶりに米を蒸す様子や臼と杵を使った餅つき、きれいに丸められた鏡餅や餡餅を目にすることができ、子どもの頃を思い出すとともに、昔から伝わってきている季節ごとの行事はいいものだなと感じました。

コロナのこともあり、開催については様々考えましたが、杵を使って餅をつくという体験をさせてやりたいとの運営委員さんの思いから、できる限りの対策をとって実施していただきました。参加した子どもたちにとって、冬休みの楽しく貴重な体験になったことでしょう。

今回ついた餅で作った鏡餅をいただきました。ありがとうございました。職員室と玄関に飾り、新年を迎えることができました。

マルバテイショウソウの花が・・・

1月5日、玄関に置いてあるマルバテイショウソウの鉢に水をやるために行ったところ、奇妙な現象が起きていました。12月の下旬には白くかわいらしい花が咲いていました（写真左）が、今回は、肌色のたんぽぽの綿毛のような花？（写真右）が咲いていました。どう見ても全く違う花にしか見えません。株は一つしかないし、他の植物が混ざりこんでいる形跡もありません。違いといえば、12月の花は株に近いところで咲いていましたが、今回の花は茎の上のほうで咲いています。花が下から上に順に咲いていくことは理解できますが、途中から花の色も形も変わるというのはどうにも理解ができませんでした。白い花が終わった後こうなってしまったのかと思いましたが、白い花の部分はそのまましおれていました。不思議な花です。

前回の校長室便りでも紹介した12月下旬の花です。

今回、1月5日に撮影した花です。